

【件名】

ロードプライシングについて

【内容】

東京五輪までに、では遅すぎます。どれだけ多くの市民が渋滞に苦しんでいるかをもっと真剣に考えて下さい。課金が千円では効果がありません、圏央道の大部分が開通して、群馬埼玉山梨方面から鎌倉に来やすくなったのだから高速通行料金とガソリン代を大きく上回る額ではないと効果が上がりません、私は車種を問わず通年で朝 7 時から夜 7 時まで 5000 円を徴収するべきと考えます、勿論緊急車両路線バス・タクシーは免除で。

得られる収入は公共交通の充実に使うべきであり、江ノ電の部分複線化や鎌倉駅西口の交通広場の拡張をやるべき。

【回答】

鎌倉の観光拠点である鎌倉地域では、休日を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、来訪車両の生活道路への進入やバスの定時性・速達性の低下、緊急車両の遅れなど、市民生活に影響を及ぼしていることについては認識しております。

このような中、本市では、鎌倉地域の交通環境の改善に向け、平成 13 年からパークアンドライド（※1）や鎌倉フリー環境手形（※2）などの施策を順次実施し、一定の成果を上げていますが、これらの施策のみでは目に見えた解決には至っていないのが実状です。

そこで、鎌倉地域に流入する自動車交通量を抑制することで交通渋滞を解消し、地域住民の居住環境の向上や公共交通の利便性向上等を図るためには、ロードプライシング（※3）の導入が効果的であると考えていますが、導入に向けては法制度や課金システムなど様々な課題もあります。

ご指摘のロードプライシングの課金額や課金時間帯につきましては、今後実施予定の利用者アンケートや交通量調査等に基づく解析結果を踏まえ、整理していく考えです。また、対象車両につきましては、鎌倉地域へ流入する全ての自動車とすることを考えていますが、緊急車両や路線バス等をはじめ、福祉車両、宅配車両等の公共交通への転換が困難な車両については、対象外とすることを検討しています。

今後も、交通渋滞の解消をめざし、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

※1：自動車で来訪する人が、七里ガ浜や江の島などの周辺地域で江ノ電に乗換えて、自動車流入量を削減することを目的とした施策。現在、国道 134 号の海岸沿いの 4 箇所の駐車場（合計約 800 台）で実施しています。

URL : <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/kankyotegata1.html>

※2：鎌倉地域内の観光スポットを広くカバーした 5 つの路線バスと、電車の特定区間が一日自由に乗り降りできるお得なフリーきっぷです。

URL : <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/kankyotegata1.html>

※3：鎌倉地域に流入する車両に対し、料金を課すことで、自動車利用を控え公共交通への転換を促し、状況に応じて自動車と公共交通が選択できる自動車利用の抑制策です。鎌倉市では平成25年10月に市長から検討委員会に対し要請があり、その実施に向けた計画の検討を行っております。

平成28年4月12日対応／回答